



## 2023年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月14日

上場会社名 株式会社グリーンズ  
 コード番号 6547 URL <https://www.kk-greens.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村木 雄哉  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊藤 浩也 TEL 059(351)5593  
 定時株主総会開催予定日 2023年9月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年9月28日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

上場取引所 東 名

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年6月期の連結業績（2022年7月1日～2023年6月30日）

#### （1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期	36,439	43.3	3,697	—	3,492	—	4,191	—
2022年6月期	25,437	61.9	△2,157	—	△2,021	—	△2,178	—

（注）包括利益 2023年6月期 4,202百万円（－％） 2022年6月期 △2,175百万円（－％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年6月期	305.33	284.93	124.8	14.0	10.1
2022年6月期	△169.20	—	—	△9.4	△8.5

（参考）持分法投資損益 2023年6月期 ー百万円 2022年6月期 ー百万円

（注）2022年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載していません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期	23,786	5,367	22.6	△108.12
2022年6月期	25,932	1,347	5.2	△414.29

（参考）自己資本 2023年6月期 5,367百万円 2022年6月期 1,347百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年6月期	4,629	△539	△7,376	6,727
2022年6月期	△1,029	△2,253	9,416	10,015

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2022年6月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00	百万円 —	% —	% —
2023年6月期	—	0.00	—	9.00	9.00	115	2.9	—
2024年6月期（予想）	—	0.00	—	20.00	20.00		7.8	

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	4.3	3,700	0.1	3,400	△2.6	3,300	△21.3	237.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年6月期	12,886,200株	2022年6月期	12,886,200株
2023年6月期	9,742株	2022年6月期	9,742株
2023年6月期	12,876,458株	2022年6月期	12,876,458株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年6月期の個別業績（2022年7月1日～2023年6月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期	36,470	43.2	3,660	—	3,457	—	4,152	—
2022年6月期	25,464	61.8	△2,178	—	△2,040	—	△2,196	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期	302.33	282.15
2022年6月期	△170.62	—

(注) 2022年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載していません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期	23,703	5,303	22.4	△113.15
2022年6月期	25,874	1,320	5.1	△416.32

(参考) 自己資本 2023年6月期 5,303百万円 2022年6月期 1,320百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、決算短信添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は2023年8月14日（月）に当社ウェブサイトに掲載予定です。

## (参考) 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	—	—	—	—
2023年6月期	0.00	0.00	0.00	40,000.00	40,000.00
2024年6月期 (予想)				40,000.00	40,000.00

B種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	—	—	—	—
2023年6月期	0.00	0.00	0.00	40,000.00	40,000.00
2024年6月期 (予想)				—	—

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	1
(1) 当期の経営成績の概況 .....	1
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し.....	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11
4. 補足情報 .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2022年7月1日から2023年6月30日まで)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限の撤廃や感染症法上の位置付けが5類に移行したことより、国内外の移動が活発化し経済の正常化が進みました。景気回復に向けた動きが進む一方、ロシア・ウクライナ情勢などの影響によるエネルギー価格や原材料価格の高騰、物価上昇、また円安の進行など、景気の先行きが不透明な状況が続きました。

ホテル業界におきましては、2023年7月31日に観光庁が公表している最新の宿泊旅行統計調査(2023年5月第2次速報、2023年6月第1次速報)によりますと、2023年5月の延べ宿泊者数は4,926万人泊(前年同月比+33.8%、2019年同月比△4.2%)、6月は4,626万人泊(前年同月比+36.5%、2019年同月比+1.0%)と、前年を大幅に上回り、ほぼコロナ禍以前の水準に戻っております。

このような事業状況の下、当社運営における月次の客室稼働率は、第1四半期を中心に前年同期の各月を大幅に上回り、年度を通じてコロナ禍以前の2019年6月期と同水準にて推移いたしました。また客室単価は、比較的客室単価の高い都市等への出店割合が増加したことや全国旅行支援の影響等により、コロナ禍以前及び前年を大幅に上回り、特に2023年5月度は9,042円と過去最高の客室単価となりました。インバウンド需要はますます回復することが期待され、引き続き国内外からの安定的な宿泊需要を見込んでおります。

当社グループにおいて宿泊特化型ホテルを中心に全国で展開している「チョイスブランド」では、2021年7月5日開業のコンフォートイン那覇泊港(沖縄県那覇市)、2021年10月14日開業のコンフォートホテル名古屋金山(愛知県名古屋市)、2022年3月23日開業のコンフォートホテル高松(香川県高松市)、2022年12月14日開業のコンフォートホテル四日市(三重県四日市市)の当連結会計年度における売上高の貢献がありました。一方で当連結会計年度において定期建物賃貸借契約の満了によりコンフォートホテル長崎(長崎県長崎市、2022年11月30日閉店)、コンフォートホテル長野(長野県長野市、2022年12月11日閉店)の2店舗を閉店いたしました。営業面においては、各地域の「地域割」や期中に開始された「全国旅行支援」への対応、需要の増加に合わせた各店舗地域のレベニューマネジメントによる販促強化を図ったこと、また状況を見極めた自治体への一棟貸し継続の結果、当事業の売上高は前年同期比49.0%増の29,904百万円となり、客室稼働率は前年同期比9.0ポイント増の83.0%、客室単価は前年同期比31.6%増の8,298円となりました。

三重県・東海地方を中心に地域特性に合わせて宴会場等を併設したシティホテルや宿泊特化型ホテルを展開している「オリジナルブランド」及び「その他の事業」においては、2021年7月30日開業のhotel around TAKAYAMA(岐阜県高山市)の当連結会計年度における売上高の貢献があった一方、定期建物賃貸借契約の終了により伊勢シティホテルアネックス(三重県伊勢市、2022年12月12日閉店)、施設老朽化により維持管理費の増加が見込まれること等を総合的に勘案しロードイン鳥羽(三重県鳥羽市、2023年2月12日閉店)2店舗を閉店いたしました。営業面においては、堅調な設備工事やメンテナンス等のビジネス需要の取り込み、「チョイスブランド」と同じく、各地域の「地域割」や期中に開始された「全国旅行支援」への対応、需要の増加に合わせた各店舗地域のレベニューマネジメントによる販促強化を図ったこと、また状況を見極めた自治体への一棟貸し継続の結果、売上高は前年同期比21.7%増の6,534百万円となり、客室稼働率は前年同期比5.8ポイント増の73.0%、客室単価は前年同期比18.0%増の6,321円となりました。

上記の結果、当連結会計年度における当社グループ全体の客室稼働率は前年比8.4ポイント増の80.9%、客室単価は前年比29.7%増の7,921円、ホテル軒数は97店舗、客室数はチョイスブランド11,428室、オリジナルブランド2,979室の合計14,407室となっております。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高36,439百万円(前期比43.3%増)、営業利益3,697百万円(前年同期は営業損失2,157百万円)、経常利益3,492百万円(前年同期は経常損失2,021百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は4,191百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失2,178百万円)となりました。

(注) 1. 2023年1月に組織変更を実施し、当社グループにおいて宿泊特化型ホテルを中心に全国で展開している「チョイスブランド」と三重県・東海地方を中心に地域特性に合わせて宴会場等を併設したシティホテルや宿泊特化型ホテルを展開している「オリジナルブランド」でブランド別の管理を行うこととなったため第3四半期よりブランド別に開示しております。なお、従前開示しておりました事業部別の所属店舗とブランド別での所属店舗に変更はございません。

2. 文中記載の客室稼働率ならびに客室単価は、当連結会計年度における数値となります。なお月別の数値に関しましては当社ホームページに掲載しております。株式会社グリーンズ <https://www.kk-greens.jp/>

## （2）当期の財政状態の概況

### 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における資産につきましては23,786百万円（前連結会計年度末25,932百万円）と、2,145百万円減少いたしました。

うち流動資産は9,992百万円（同13,159百万円）と、3,167百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は13,794百万円（同12,772百万円）と1,022百万円増加いたしました。これは主に繰延税金資産の増加によるものであります。

負債につきましては18,419百万円（同24,585百万円）と6,166百万円減少いたしました。

うち流動負債は7,467百万円（同16,583百万円）と9,115百万円減少いたしました。これは主に短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金の減少によるものであります。

固定負債は10,951百万円（同8,002百万円）と2,949百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加によるものであります。

純資産につきましては5,367百万円（同1,347百万円）と、4,020百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は22.6%となりました。

## （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて3,287百万円減少し、6,727百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は4,629百万円となりました。収入の主な内訳は税金等調整前当期純利益3,105百万円、減価償却費559百万円、減損損失163百万円であります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は539百万円となりました。収入の主な内訳は差入保証金の回収による収入173百万円、有形固定資産の売却による収入147百万円、支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出767百万円、差入保証金の差入による支出30百万円であります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は7,376百万円となりました。収入の主な内訳は長期借入による収入883百万円、支出の主な内訳は短期借入金の純減少額7,000百万円、長期借入金の返済による支出773百万円であります。

## （4）今後の見通し

足元では、経済や社会活動はほぼ正常に戻り、旅行支援やインバウンドの増加も相まって宿泊需要は高い水準で推移しております。2024年6月期は、中期経営計画「GREENS JOURNEY 2025」の2年目となりますが、2023年6月期の事業推移、また客室稼働率の動向、客室単価の伸長状況、市場環境等を総合的に判断し、2024年6月期は、中期経営計画の最終年度の目標値を超える売上高38,000百万円、営業利益3,700百万円、経常利益3,400百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3,300百万円を目指してまいります。2024年6月期の計画達成に向け、当社は引き続き中期経営計画「GREENS JOURNEY 2025」の重点戦略への取り組みを通じ、変化を見据えた新たな挑戦をし、成長を加速させる「実行」の年とします。新たな挑戦として、2つの方向性でレジャー向け新ブランドの導入いたします。そのひとつとして、チョイスホテルズインターナショナルが展開するブランドで日本初となるAscend Hotel Collection™を、新たに当社の「チョイスブランド」のひとつに加え展開を進めてまいります。このブランドは、宿泊することでその地域にしかないローカルストーリーや魅力を提供することを特長としていることから、2023年7月1日、「hotel around TAKAYAMA」（岐阜県高山市）をAscend Hotel Collection™ブランドとし、運営を開始しました。また、日本国内の宿泊需要が緩やかにレジャー需要へ変化し、インバウンド需要もコロナ前の水準まで急速に回復し、更なる伸長も期待できることから、レジャーをターゲットとした新ブランド「コンフォートホテルERA」を立ち上げ展開していきます。既存のホテルの安定的なサービスにより引き続きビジネス需要の取り込みを強化するとともに、インバウンド需要や国内で進むレジャー需要の増加に、新ブランドの展開を進めることで着実に需要を取り込み成長を加速させてまいります。

（中期経営計画「GREENS JOURNEY 2025」の重点戦略）

1. ブランド展開によるレジヤータラゲツ獲得強化
2. ビジネス需要の取り組み強化
3. バンケット機能の高度化と新たな領域への進出
4. 着実な新店開発の実施
5. 競争力の源泉たる”人財”の確保・育成に向けた取り組み
6. さらなるDX推進による業務効率化と新しい顧客体験の創造

2024年6月期業績予想につきましては、業容拡大効果による着実な売上高増加を見込むものの、利益面においては、依然としてエネルギー価格や原材料価格の高騰が継続することを想定し、客室単価を高い水準で維持するために、需要の動向を見極め、各店舗におけるレベニューマネジメント強化の継続し、それにより、売上高38,000百万円、営業利益3,700百万円、経常利益3,400百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3,300百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当連結会計年度 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,015,145	6,727,877
売掛金	1,981,839	2,146,007
原材料及び貯蔵品	102,008	116,012
前払費用	971,809	961,329
その他	90,812	40,974
貸倒引当金	△1,680	△80
流動資産合計	13,159,936	9,992,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,058,180	4,432,177
工具、器具及び備品（純額）	442,212	403,961
土地	1,815,257	1,828,655
リース資産（純額）	197,987	139,376
建設仮勘定	2,122,834	2,574
有形固定資産合計	6,636,473	6,806,745
無形固定資産	140,698	109,044
投資その他の資産		
投資有価証券	59,795	76,265
長期貸付金	18,681	8,545
差入保証金	5,784,034	5,638,150
繰延税金資産	—	1,093,709
その他	174,082	95,353
貸倒引当金	△41,000	△33,000
投資その他の資産合計	5,995,594	6,879,025
固定資産合計	12,772,766	13,794,815
資産合計	25,932,702	23,786,937



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当連結会計年度 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	949,587	1,088,617
短期借入金	9,600,000	2,600,000
1年内返済予定の長期借入金	3,780,887	821,814
未払金	866,836	1,338,762
未払費用	579,015	708,732
未払法人税等	64,769	64,014
未払消費税等	382,263	523,824
その他	359,971	321,770
流動負債合計	16,583,331	7,467,537
固定負債		
長期借入金	7,158,337	10,227,088
資産除去債務	563,783	549,104
その他	280,183	175,389
固定負債合計	8,002,305	10,951,581
負債合計	24,585,636	18,419,119
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,433,240	3,251,596
利益剰余金	△2,170,244	2,021,271
自己株式	△8,917	△8,917
株主資本合計	1,354,078	5,363,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,012	3,867
その他の包括利益累計額合計	△7,012	3,867
純資産合計	1,347,065	5,367,818
負債純資産合計	25,932,702	23,786,937

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
売上高	25,437,288	36,439,211
売上原価	23,007,558	26,337,905
売上総利益	2,429,730	10,101,305
販売費及び一般管理費	4,587,598	6,404,193
営業利益又は営業損失(△)	△2,157,868	3,697,111
営業外収益		
受取利息	530	368
受取配当金	1,628	1,997
違約金収入	23,866	36,468
助成金収入	470,243	86,807
受取補償金	—	44,139
その他	64,360	31,776
営業外収益合計	560,628	201,558
営業外費用		
支払利息	104,599	144,906
株式交付費	68,650	—
借入手数料	3,273	202,582
支払手数料	175,882	—
支払補償費	60,186	44,970
その他	11,957	14,102
営業外費用合計	424,550	406,561
経常利益又は経常損失(△)	△2,021,790	3,492,108
特別利益		
固定資産売却益	8,897	43,698
特別利益合計	8,897	43,698
特別損失		
固定資産除却損	1,248	27,062
減損損失	118,450	163,837
解体撤去費用	—	239,568
特別損失合計	119,699	430,468
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△2,132,592	3,105,339
法人税、住民税及び事業税	64,767	64,014
法人税等調整額	△18,627	△1,150,191
法人税等合計	46,139	△1,086,177
当期純利益又は当期純損失(△)	△2,178,732	4,191,516
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△2,178,732	4,191,516

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△2,178,732	4,191,516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,872	10,880
その他の包括利益合計	2,872	10,880
包括利益	△2,175,860	4,202,396
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△2,175,860	4,202,396

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2021年7月1日 至 2022年6月30日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,948,025	1,949,813	△6,812,327	△8,917	△2,923,405
会計方針の変更による累積的影響額			△43,783		△43,783
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,948,025	1,949,813	△6,856,111	△8,917	△2,967,189
当期変動額					
新株の発行	3,250,000	3,250,000			6,500,000
欠損填補		△6,864,598	6,864,598		—
減資	△5,098,025	5,098,025			—
親会社株主に帰属する当期純利益			△2,178,732		△2,178,732
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	△1,848,025	1,483,426	4,685,866	—	4,321,267
当期末残高	100,000	3,433,240	△2,170,244	△8,917	1,354,078

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△9,884	△9,884	△2,933,290
会計方針の変更による累積的影響額			△43,783
会計方針の変更を反映した当期首残高	△9,884	△9,884	△2,977,074
当期変動額			
新株の発行			6,500,000
欠損填補			—
減資			—
親会社株主に帰属する当期純利益			△2,178,732
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	2,872	2,872	2,872
当期変動額合計	2,872	2,872	4,324,139
当期末残高	△7,012	△7,012	1,347,065

当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	3,433,240	△2,170,244	△8,917	1,354,078
当期変動額					
剰余金(その他資本剰余金)の 配当		△181,643			△181,643
親会社株主に帰属する当期純利益			4,191,516		4,191,516
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△181,643	4,191,516	—	4,009,872
当期末残高	100,000	3,251,596	2,021,271	△8,917	5,363,950

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	△7,012	△7,012	1,347,065
当期変動額			
剰余金(その他資本剰余金)の 配当			△181,643
親会社株主に帰属する当期純利益			4,191,516
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	10,880	10,880	10,880
当期変動額合計	10,880	10,880	4,020,752
当期末残高	3,867	3,867	5,367,818

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△2,132,592	3,105,339
減価償却費	522,310	559,987
減損損失	118,450	163,837
固定資産売却損益(△は益)	△8,897	△43,698
固定資産除却損	1,248	27,062
受取利息及び受取配当金	△2,158	△2,365
支払利息	104,599	144,906
売上債権の増減額(△は増加)	△1,087,120	△164,167
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,754	△14,004
仕入債務の増減額(△は減少)	241,017	139,029
借入手数料	3,273	202,582
支払手数料	175,882	—
株式交付費	68,650	—
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△3,573	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	382,263	141,560
未収消費税等の増減額(△は増加)	397,849	—
未払金の増減額(△は減少)	294,415	406,237
その他	39,132	169,537
小計	△887,001	4,835,843
利息及び配当金の受取額	2,158	2,365
利息の支払額	△104,733	△144,156
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△40,061	△64,833
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,029,639	4,629,218
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,289,304	△767,457
有形固定資産の売却による収入	159,066	147,002
無形固定資産の取得による支出	△33,342	△33,803
投資有価証券の取得による支出	△3,596	△3,596
差入保証金の差入による支出	△124,352	△30,255
差入保証金の回収による収入	141,331	173,491
長期前払費用の取得による支出	△88,614	—
その他	△15,050	△25,038
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,253,862	△539,657
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,000,000	△7,000,000
長期借入れによる収入	1,991,000	883,000
長期借入金の返済による支出	△731,628	△773,322
株式の発行による収入	6,431,349	—
配当金の支払額	△680	△181,918
借入手数料の支払額	△3,273	△202,582
支払手数料の支払額	△175,882	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△93,976	△102,019
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,416,907	△7,376,842
現金及び現金同等物に係る換算差額	43	13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,133,448	△3,287,267
現金及び現金同等物の期首残高	3,881,696	10,015,145
現金及び現金同等物の期末残高	10,015,145	6,727,877

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループはホテル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

**【関連情報】**

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループはホテル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高はないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、該当事項はありません。

**【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】**

当社グループはホテル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

**【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】**

当社グループはホテル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

**【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】**

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
1株当たり純資産額	△414.29円	△108.12円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△169.20円	305.33円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	284.93円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
(1) 1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△2,178,732	4,191,516
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	260,000
(うち優先配当額 (千円))	—	260,000
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△2,178,732	3,931,516
普通株式の期中平均株式数 (株)	12,876,458	12,876,458
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	20,000
(うち優先配当額 (千円))	—	20,000
普通株式増加数 (株)	—	992,063
(うちB種種類株式 (株))	—	992,063

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

## (1) 生産実績

該当事項はありません。

## (2) 受注実績

該当事項はありません。

## (3) 販売実績

当連結会計年度の販売実績は次のとおりであります。なお、当社グループはホテル事業の単一セグメントであるため、ブランド別に記載しております。

ブランド及び事業の名称	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	前期比 (%)
チョイスブランド (千円)	29,904,603	149.0
オリジナルブランド及びその他の 事業 (千円)	6,534,607	121.7
合 計 (千円)	36,439,211	143.3

- (注) 1. 2023年1月に組織変更を実施し、ブランド別の管理を行うこととなったため第3四半期よりブランド別に開示しております。なお、従前開示しておりました事業部別の所属店舗とブランド別での所属店舗に変更はございません。
2. 事業部門間の取引については相殺消去しております。
3. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、当該割合が100分の10以上の相手先がないため、記載を省略しております。
4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。